

田中工業株式会社

2023年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年6月1日～ 2024 年5月31日)



作成日： 2024年8月31日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介（ロードボランティアの実施）	11

ロングスパン工

県道安田東洋線 防災・安全交付金工事 安田町瀬切



環境経営方針

＜環境経営理念＞

田中工業株式会社は、環境問題への関心の高まりの中で、環境保全活動に取り組んでいくことが重要課題であると考え、自主的・積極的かつ継続的な環境保全及び環境負荷の削減に取り組めます。

弊社の得意とする、法面保護の落石対策工事を通じ、国土強靱化や南海トラフ地震対策に寄与するという理念の基に、防災・減災に役立つ工事を環境保全に配慮しながら施工していきます。

＜環境保全への行動指針＞

1. 環境経営を推進するため、次の活動を実施します。

- (1) 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素の排出を削減します。
- (2) 事業活動により排出される一般廃棄物及び産業廃棄物の分別徹底と削減を促進します。
- (3) 水使用量を削減します。
- (4) 事務用品のグリーン購入を促進します。
- (5) 当社の事業活動を踏まえた環境配慮を促進します。

2. 環境関連法規等を遵守し、環境保全に努めます。

3. 地域における環境保全活動に積極的に参加します。

4. 環境教育の実施により、全従業員に環境経営方針を周知徹底するとともに、環境保全に関する意識を高め向上をはかります。

5. SDGsへの取組みを推進します。

6. 環境経営方針は、環境経営レポートと共に社外に開示します。



改定日 2022年6月1日

田中工業株式会社

代表取締役 田中啓輔

□組織の概要

更新日：2021年6月1日

(1) 名称及び代表者名
田中工業株式会社
代表取締役 田中 啓輔

(2) 所在地
本 社 高知県高知市葛島4丁目5-7（登記上）
南国営業所 高知県南国市岡豊町定林寺50-1
岡豊倉庫 高知県南国市岡豊町小蓮1176-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 代表取締役 田中 啓輔 TEL：088-855-7788
担当者 営業部長 古谷 健 FAX：088-855-7789
e-mail：tanakakk@giga.ocn.ne.jp

(4) 事業内容 建設業(法面保護工事、落石対策工事及び交通安全施設の施工)

	許可期間	許可対象
建設業許可	R元年7月5日～ R6年7月4日	土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道施設工事業

(5) 事業の規模

売上高 25,335 万円

	本 社	南国営業所	岡豊倉庫	合計
従業員 名	0 名	11 名	18 名	29 名
延べ床面積 m ²	0 m ²	186 m ²	7,800 m ²	7,986 m ²

(6) 事業年度 6 月 1 日 ～ 5 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 田中工業株式会社
対象事業所： 南国営業所
岡豊倉庫

対象外： 本社（登記上）
活動： 建設業（法面保護工事、落石対策工事及び交通安全施設の施工）

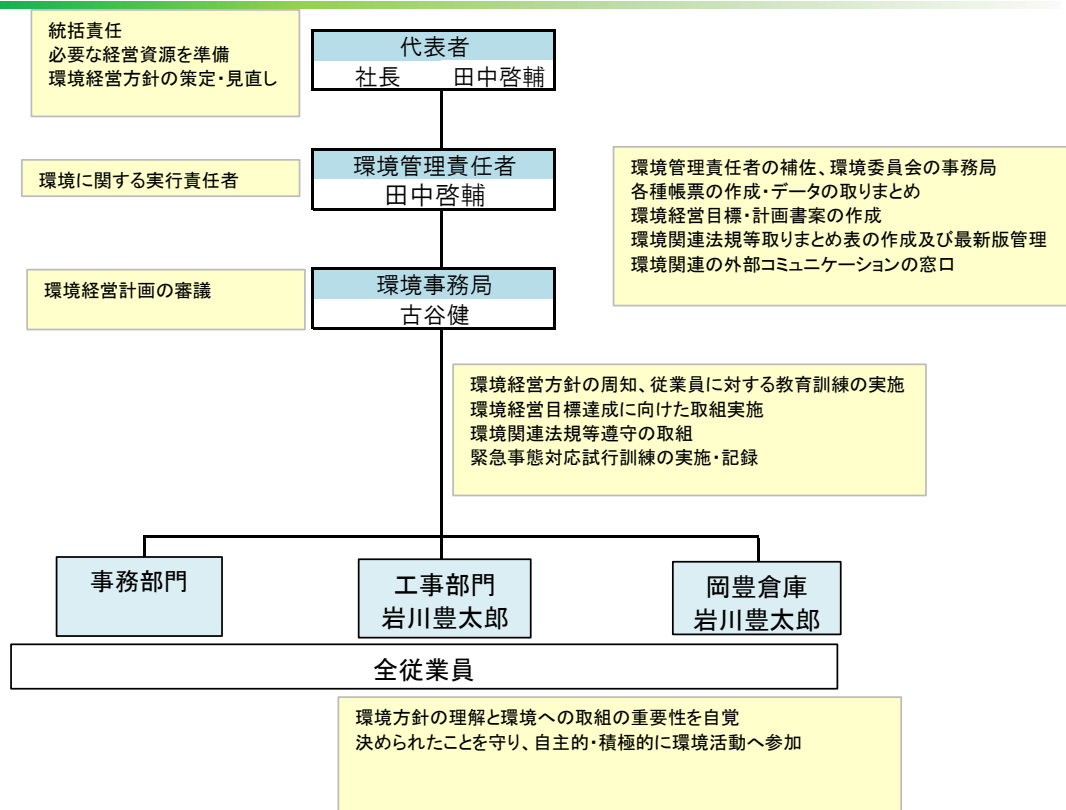
□事業や製品（商品）の紹介

吹付法砕工 ロックネット工
国道494号道路災害復旧工事 仁淀川町用居



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2023年6月1日



アンカー工

県道石鎚公園線 防災・安全交付金工事
いの町長沢



□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2020年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	112,217	113,374	115,436
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	168	177	235
産業廃棄物排出量	トン	49,980	56,800	104,660
総排水量	m ³	202	150	159

※二酸化炭素排出係数 0.574 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

※二酸化炭素排出量:灯油使用による2,027kg-CO₂(2020年) 3,546kg-CO₂ (2022年度) 4,123kg-CO₂(2023年度) を含む

□環境経営目標及びその実績

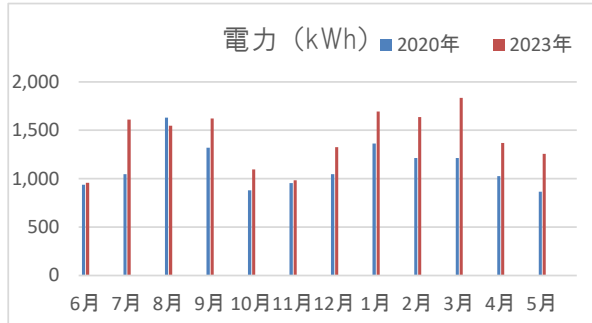
年 度		2020年度	2023年度		評 価	2023年度	2024年度
項 目		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	7,825	7,590	9,720	×	7,512	7,434
	基準年度比		97%	124%	×	96%	95%
	原単位 kg-CO ₂ /千円	0.017	0.016	0.029	×	0.016	0.016
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	102,365	99,294	101,593	×	98,271	97,247
	基準年度比	2020年	97%	99%		96%	95%
上記二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	110,190	106,885	111,312	×	105,783	104,681
一般廃棄物の削減	kg	143	126	235	×	126	123
	基準年度比		88%	164%		88%	86%
産業廃棄物の削減	kg	49,980	45,482	104,660	×	43,982	42,983
	基準年度比		0.91	209%		0.88	0.86
建設副産物の再資源化率の向上	%	10%	40%	100%	○	42%	45%
水道水の削減	m ³	202	184	159	○	178	174
	基準年度比		91%	79%		88%	86%
グリーン購入の推進・環境配慮資材	行動目標(次項による)						
環境に配慮した工事の推進	行動目標 (次項による)						
社会貢献活動	行動目標 (次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	目標値を28%増加した。事務所、岡豊倉庫使用分では、夏場の高温により使用量が増えた。引き続きエアコンの設定温度を厳守し、省エネに努める。
原単位目標	×	
・エアコンの設定温度（冷房28℃ 暖房20℃）とする	○	
・エアコンフィルターを定期的に清掃する	△	
・電子機器は省エネ設定をする	△	
・不要な照明は消す	○	



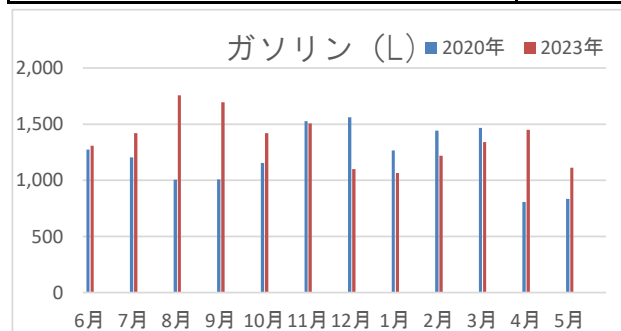
取組紹介欄

エアコンの温度設定



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	937	1,047	1,630	1,319	879	956	1,047	1,363	1,215	1,215	1,026	866
2023年	957	1,610	1,547	1,622	1,097	984	1,326	1,693	1,637	1,835	1,369	1,256

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	目標値を2%増加した。遠方の現場が増えガソリン使用量が増えた。今後、現場に行く時は乗り合わせで行き、車の台数を減らす。軽油は工事数が減ったので基準値から8%の減少になった。
・アイドリングストップ、空吹かし禁止	○	
・車両の安全運転を心がけ、急発進・急ブ	○	
・不要な荷物は積まない	○	

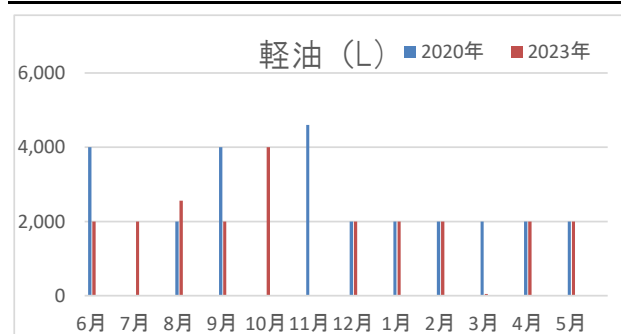


取組紹介欄

無事故運動実施中



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	1,272	1,203	1,006	1,007	1,154	1,527	1,560	1,265	1,441	1,467	806	834
2023年	1,309	1,420	1,757	1,695	1,420	1,505	1,099	1,066	1,219	1,341	1,450	1,111



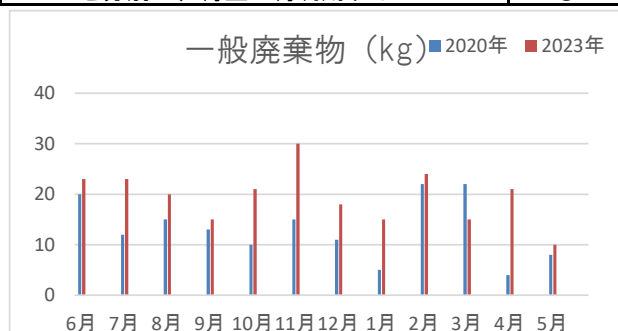
取組紹介欄

環境配慮型発電機



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	4,000	0	2,000	4,000	0	4,600	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
2023年	2,000	2,000	2,563	2,000	4,000	0	2,000	2,000	2,000	47	2,000	2,000

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	全体の工事数は減少したが、元請数が増えた事により役場への提出資料が増えた為、コピー用紙の使用量が増えた。今後は、紙より電子化に変更される為削減になる見込み。
・ミスプリントをなくす	○	
・コピー用紙の裏紙を使用する	○	
・文書の電子化を推進し要旨を削減する	△	
・ごみを分別し、再生・再利用する	○	

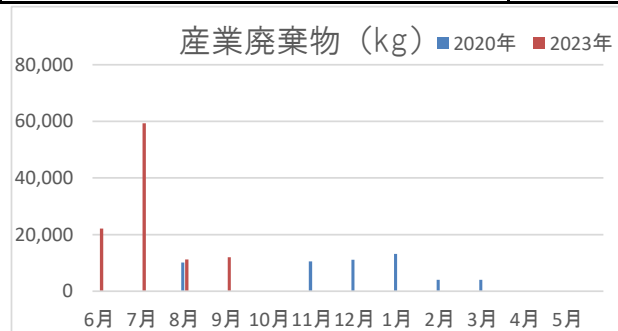


取組紹介欄
裏紙の使用



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	20	12	15	13	10	15	11	5	22	22	4	8
2023年	23	23	20	15	21	30	18	15	24	15	21	10

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	排出物はコンクリート塊、建設発生木材で100%再資源化している。元請数が増えた関係が影響している。引き続きマニフェスト票の管理を徹底する。
・マニフェスト票による管理を徹底する	○	
・廃棄物を分別し、再生・再利用する	○	
・適切な施工による産廃排出量の抑制	○	



取組紹介欄

産廃保管施設



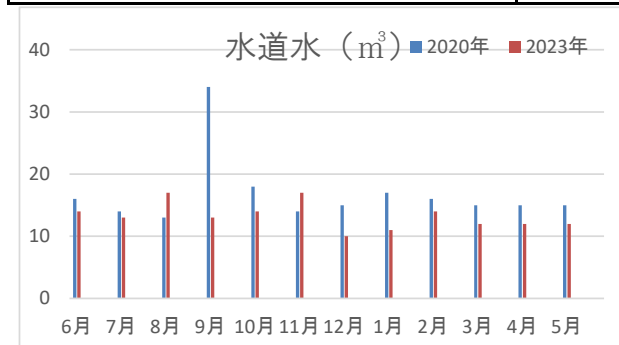
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	0	0	10,140	0	0	10,490	11,080	13,190	4,000	4,000	0	0
2023年	22,180	59,270	11,240	11,970	0	0	0	0	0	0	0	0

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	建設発生材は100%再資源化を目指している。達成した、今後も継続していく。
・分別の徹底	○	
・再資源化の推進	○	

取組紹介欄 建設発生材は100%再資源化



水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標値を14%減少した。工事数が減少したことにより、現場に持っていく水の量が減少した。
・蛇口に節水コマを取り付ける	×	
・節水札を掛けるなど、従業員への周知徹底	○	
・洗車時の使用水量は必要最小限にとどめ節	○	



取組紹介欄 節水啓発・ごみの分別徹底



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	16	14	13	34	18	14	15	17	16	15	15	15
2023年	14	13	17	13	14	17	10	11	14	12	12	12

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・現場周辺への環境配慮	○	低騒音・排出ガス対策型機械を使用し、現場周辺への環境配慮に努めた。
・騒音・振動防止、汚濁防止に努める	○	今後も継続していく。
・低騒音・排出ガス対策型機械を使用する	○	
・植生工に使用する種子の検討(周辺環境・生	○	

取組紹介欄 植生工の施工現場



課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	○	当社特許製品のロングスパン工を引き続きPRして行く。
・企業PRによる顧客獲得	○	南国市内の工業系の高校に求人案内を送っている。
・事業拡大のための資金調達、人材確保	○	4週8休を徹底している。
・新製品・商品開発	○	
・働き方改革	○	

取組紹介欄



グリーン購入への取組・環境配慮資材
取組紹介欄 事務用品のグリーン購入、環境を配慮した製品資材の優先使用 県内産資材の購入、木製看板、木製型枠の使用



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限、車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
建設リサイクル法	建設副産物
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁法	油類・有害物質の保管
浄化槽法	浄化槽
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023年12月15日	■実施場所 岡豊倉庫
■参加者： 田中啓輔、松本敏朗、森井幸人、青木明、 安藝太、田辺忠弘、松田和樹、五藤渉、松山 滋、 松岡力、古谷健	■実施内容： 消火訓練、通報訓練
■評価： 手順通りに行えた。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定：洪水時の避難経路・場所の確認	
■実施日： 2023年7月14日	■実施場所 南国営業所会議室
■参加者： 松本敏朗、森井幸人、田中義雄、西本卓史、 合田和宏、山本弘明、古谷健、和田拓也、 関田廣、和田弘光、東谷美奈	■実施内容： 南国市洪水ハザードマップにて確認
■評価： 過去に浸水した区域の確認、 避難経路・場所の確認ができた。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■参考資料 南国市洪水ハザードマップ	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年7月5日

エコアクション21へは2018年6月から取組みははじめました。社員の協力のもと、環境経営計画による省エネ活動や現場での環境配慮工事により組んできました。しかし、個別に見ると目標に及ばない項目も見受けられるため、今後より一層の社内環境教育及び省エネ活動の徹底を図り、目標の改善達成に向け積極的に取り組んでいきたいと思ひます。SDGsへの取り組みを推進して参ります。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

実績を踏まえて見直すこと

□これまでの環境活動の紹介

ロードボランティアの実施

